



手をつなご だより

発行人 特定非営利活動法人手をつなご理事長 千葉 勝恵

発行所 〒177-0045 東京都練馬区石神井台 5-9-6 手をつなごの家

お問合せは、Tel.03-6767-2577 Mail : st_contact@tewotsunago.or.jp

URL : <https://ciao-tewotsunago.ssl-lolipop.jp/>

Vol. 80

2022年9月号

(年2回発行)

25歳になった 手をつなご

● 理事長 千葉 勝恵

ボランティアグループ「手をつなご」発足(1997年9月)から今年は丸25年の節目となります。教育者・保育者だった人・福祉関係だった人・仕事に関係なく未婚者も・既婚者も子どもの有る・無しにかかわらず、温かい心で、ボランティア発足から今日まで男性も女性も若者も年寄りも多くの方達が25年の間に関わって下さいました。天国から今も見守って下さっている方もあります。沢山の方たちの、知恵やお力をいただき、今の「手をつなご」があります。スタッフのみならず、多くのボランティアの方々、練馬区のご指導も参加者の皆様



のお力もあってのことなのです。いろいろ挙げればきりがありませんが、地域子ども家庭支援センター貫井では100回目のひろば

開催の日、スタッフは気が付かないでいましたが、遊びに来られたお母さんから、「今日は100回目のひろばですね。」と教えられ、調べたら本当に100回目でした。急遽、「おめでとう100か〜い、ありがとう100か〜い」と、ひらひら折り紙のリボンを皆で高々と振り上げました。気が付かなかった自分達を恥じながらも、数えて下さったお母さんへ感謝しつつ、折り紙リボンを皆で撒いた貫井100回記念日を懐かしく思い出しています。S君は今どうしているだろうか、お母さんもお元氣だろうか、と思いを馳せています。又こんなこともあ

りました。小さな赤ちゃんを大事そうにベッドに寝かせたお母さん、赤ちゃんのお名前を尋ねると「まだ、出生届出していません。」小さな赤ちゃんですがこの日、誇らしくひろばデビューを果たしました。(さすがに1回だけでしたか)

高校生との交流ではひろばに来た生徒さんからカップルも生まれました。卒業して数年後、この若いカップルが赤ちゃんを見せに来てくれました。

地域子ども家庭支援センター関では、育休第1号のお父さんのひろばデビューもありました。今でもその当時のパパサークルがずっと繋がっているそうです。こんなに長く、そして地域に根付かせたかった親御さんのつながりが実現していたことは本当に嬉しいことです。子育て支援事業に関わってきた



たことは地域の中に、お母さん・お父さん・沢山の皆さんが繋がり合っていきたいと思っていた夢が実現していることが嬉しく、私の夢だけではなく、地域の夢であり、皆が望んでいることだと心から嬉しくなりました。地域の人達、日本中の、いえ、世界中の人達がこんなにやさしく子ども達を見守り、平和の地域を作るんだと思うと、大変嬉しくなりました。皆さんに感謝いたします。一人一人は皆、思っている筈なのに、戦争が起きるなんて、どういことでしょうか。

東日本大震災時には、手をつなごは避難先へ慰問に行きました。長寿文化協会からの依頼で避難先の子どもとお母さん達の慰問に行きました。自然災害の恐ろしさもさることながら、原爆被爆者の私にとっては、2度とあってはならない核戦争など以外の外です。

手をつなご立ち上げ時から先導して下さいました秋葉さん・おもちゃドクターの伊藤さん・折り紙のおじさんの室井さん・長寿社会文化協会とのつながりをつけて下さった山本さん、病に倒れて意識が戻らず、眠り続けておられる宗形さん、等々今も見守って下さっていると思



ます。皆、地域の方々です。私達は地域の方々のお力の下、作り上げてきました。利用者の方々のお力も大きいです。職員一人一人

が良く頑張ってきたおかげでもあります。初めて区に向いた時のことを思い出した出来事がありました。当時の課長さんに今年5月に再会しました。4月から関町福祉園所長になられた木村所長です。「私80歳になりました。」と言うと「僕61歳になりました。」と返ってきました。数日後、お訪ねし色々お話をしてきました。和やかな一時でした。途中からは練馬区の子育て支援の一端を担い、お叱りを受けることもありましたが、ひろばに遊びに来られた方々や地方に引っ越された方のお子さんたちが大学進学されたニュースも入ってきます。長い長い月日が刻まれてきました。

街中や電車の中でボランティアグループ時代に來られた方から声をかけられることもありました。

手をつなごのひろばにお子さんを連れて遊びに来ていたママが何人もスタッフとしてつながっています。

25歳になった手をつなごですが、これからも変わらぬ温かい言葉で繋がっていきたいと思います。私たちは初心のまま、同じ思い、いえ、もっと強くなっています。「手をつなご」で仲間になったお子さんたちが、『今、どうしている?』そんなニュース知りたくありませんか?年をとった私はしきりに会ってみたいなあ!と思うのです。(コロナでお祝い会が出来ず、残念!!)心の中で、25周年ばんざ〜い!と祝っている私、ちょっと寂しいです。…本音)

皆さん、ずっとずっと繋がっていて下さって、有難うございます。これからも、皆で地域の子育て支援を温かく支えて行きましょう。プロフィールブックの絵のように、いつまでも宜しく願います。



自己紹介と 意気込み

地域子ども家庭支援センター 関

 笹川 麻衣子


今年の4月に地域子ども家庭支援センター関に入職した笹川麻衣子と申します。

2018年生まれの娘がいます。以前は成人の内科病棟や小児科クリニックで看護師をしていました。出産後、子育ての大変さを実感し、子育て中の方の何か役に立てるような仕事がしたいと思い、手をつなごに入職しました。沖縄が大好きで、娘を出産する前は竹富島に移住して、島の看護師をやりたいと思っていました。コロナが終息したら子どもと一緒に沖縄に行くのを楽しみにしているところです。



子どもが小さい頃は、自分のやりたいことや好きなことを諦めることがありましたが、娘が成長し、少しは手がからなくなったので、自分の時間も取れるようになりました。そこで、何か自分のやりたいことをやろう!と思い、出産を機に短くした髪の毛を伸ばしてヘッドネーションをすることにしました。まだまだ不慣れな点も多いですが、誠実に頑張ります。よろしく願いいたします。

地域子ども家庭支援センター 関

 永井 碧

はじめまして。地域子ども家庭支援センター関の相談員の永井碧です。まだまだひよっこですが、社会福祉士・臨床心理士です。大学で福祉、大学院では心理学を学び




ました。在学中に問題を抱えたお子さんやプレイセラピーの世界に魅了され、卒業後は教育相談センターに勤めました。出産後もプレイセラピーのできる職

場を探していましたが、自身が育児する中で「手をつなご」の存在を知りました。よちよち歩きの子とも遊ぶ場所に困り果てて、利用者としてひろばを訪れたのがき

っかけでした。育児疲れて、フレンドリーなタイプのママではありませんでしたが、無理せず自然体でいられるひろばに大変助けられました。そんな素敵な場所だなぁと思っていた「手をつなご」で働き始めて早5か月。経験も浅く、資格を持っていたって自分の人生悩んでばかりですが、微力ながらお役に立てるよう頑張ります。よろしくをお願いします。


地域子ども家庭支援センター 関

 遠藤 直美

この度、8月より地域子ども家庭支援センター関の事務の方で、お世話になることになりました 遠藤直美と申します。私生活では、いいお年頃の娘が1人、子育ても経験済みです。今までは、保育士として保育園や子育て支援など諸々、子ども達に携わる仕事をしてきました。ずっと現場で！を自分のスローガンとして頑張っていました。仕事をする中で本当に子育てを共に助け合える場所の必要性、子育てを楽しめる環境の提供など、自分の目標もでき、今度は支える側の運営の方に携わってみたいと思っていました。この度、ご縁あって仲間入りさせて頂くことになりましたが、一番縁遠く、苦手なPCやお金、幅広く求められる事務という世界へ飛び込み、今までとは真逆の頭をフル稼働させながら、慣れない世界に日々、頭から湯気を出しながら奮闘中です。新たな学びに新鮮さも感じつつ、一日も早く一人前の戦力になれるよう精進していきます！宜しくお願い致します。



地域子ども家庭支援センター 貫井

 小森 理子

私はひとり息子の子育てがひと段落してから、保育サポーターになりました。

最初はサポーターになれただけで充分と思っていましたが、周りの方々の勧めで保育士資格に挑戦し、今年の4月から貫井びよびよで非常勤の保育士として働かせていただいています。赤ちゃんを抱っこしたり、ミルクをあげたり、久しぶりにとっても楽しいです。

もちろん、人様の大事なお子様なので、責任も緊張もありますが、周りに頼れる先輩方がいるので安心です。それに、本当にみんな可愛いくてマスクの下はいつも自然と笑顔になります。子供達から癒されたり、パワーを

貰ったり、幸せな仕事だなぁとつくづく思います。

貫井の方達も皆さん明るくて、優しく。この仲間に入れるのも嬉しいです。人生100年時代の折り返しに、素敵な仕事と職場に出会えて感謝しています。



体力つけて頑張りますので、皆さんどうぞよろしくお願ひいたします！

小規模保育園手をつなご石神井台


 本間 三津子

4月から小規模保育園手をつなご石神井台の保育士として勤務しております。

私は生まれも育ちも埼玉県所沢市で、現在は所沢の隣の新座市に、夫と実母と3人で暮らしています。新座市は練馬区とも隣接していて、家の向かいは西大泉です。性格は温和で、要領が悪いけれど誠実に物事に取り組みタイプです。趣味は旅行（5月に富士山を見に河口湖へ行ってきました）、観劇（8月にミスサイゴンを観ました）などです。また、一番の元気の源だった嵐（ジャニーズのグループで現在活動休止中）がいつか活動再開して、コンサートに行くことが将来の夢の1つです。現在更年期に突入し、いろいろな部分での変化を感じています。保育園の子どもたちは生命力に満ちあふれています。私も寄る年波に負けず、日々心を磨き、体もメンテナンスし、子どもたちに元気をわけてもらいながら、人として成長し続けていきたいです。お世話になりますが、よろしくお願ひいたします。



あいあいあい南大泉

 後藤 悠子

はじめまして。4月からあいあいあい南大泉で勤務しております 後藤悠子 と申します。7歳と4歳の息子達を子育て中です。

長男が1歳まで大阪で、その後3年間広島で過ごし、



3年前に地元近くの練馬区に転居してきました。どの地域でも子育て支援施設に大変お世話になりました。産後、はじめての育児に不安や孤独感でいっぱいだった時、子育てがうまくいかない時、ひろばのような場所で何気ない話をしたり、一緒に子どもの成長を喜んでくれる人たちがい

るというのはとても救いになりました。

いつか自分も地域の子育てに貢献できたらと思って
いる中で、あい東での保育士マラソンに参加させていた
だき資格取得、現在に至ります。

この場を借りて保育士マラソンでお世話になった皆
様に改めて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

利用者さんに寄り添い、大変な育児の中でホッと一息
つけるようなあたたかい場所作りに努めます。どうぞよ
ろしくお願い致します。

あいあいあい石神井台

 根津 加代子

春に保育園から異動になり、あいあいあい石神井台で
勤務させて頂いています。

「ひろばってどんなところ？」から始まった私にとっ
て、最初は全て戸惑いの毎日でした。利用者さんの中に入
って何を話せばいいのだろう・・・。

以前も同じ話をしたかも・・・等々。次第に私も慣れてきたのか「〇〇の話
をしたっけ？」と聞いてから話をし、



「聞いたよ」って返事があっても「それでね」と話を次
に続けられるように、やあっとなってきました。やっと
ですが日々のひろばの中で利用者さん、スタッフの方々
が人を受け入れようとする気持ち、優しさ、気持ちの大
きさが伝わってきます。そして人との関りを大切になさ
っている事も。

保育園の時は先ず子どもの事を考えていました。子育て
で支援というところで目指すところは同じですが日々、
勉強をさせて頂いています。宜しくお願い致します。

なごを支えてくださっていた平井副理事長がご勇退さ
れました。ありがとうございます。また、総会後の臨時
理事会で理事長・副理事長の互選を行いました。

正会員数 101名

出席会員数 91名（出席20名、書面表決44名、委
任27名、欠席10名）

役員

理事長：千葉勝恵、副理事長：桑代恵子・細谷美保子
理事：浦山恵美子・塚越典子・野田友子・林真未・
大島登志子（新任）

監事：尾崎九一・船場章法

2022 年度理事会報告

4月11日開催

議題 ・2021年度の振り返り
・2021R3年度の理事会の反省の反省とR4
年度の理事会について

5月12日開催

議案 ・2022年定期総会について
・その他積み残し案件の審議

5月15日臨時理事会

議案 ・理事長・副理事長互選

6月16日開催

議案 ・総会の振り返り
・今年度の理事会運営について

7月21日開催

議案 ・2022年10月人事に関する提案
・理事会に係る要綱について

保育サポーター研修会のご案内

2022年度の保育サポーター研修会を10月25日
（火）9：15～11：30 関町地区区民館にて開催しま
す。研修の講師に桑代副理事長を招き、「子どもを大切
にする心とは」のテーマで、子どもの人権や心をどう捉
えていくかを学んでいきます。次回の研修交流会は来年
の2月に開催予定です。

事務局通信

2022 年度通常総会のご報告

5月29日、関町北地区区民館にて通常総会を開催し
ました。

議題は役員を選出であり、賛成多数で議決されました。
新任の理事として大島理事が選任されました。今回の役
員選出におきまして、立ち上げより理事長と共に手をつ